

2021年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1492400237	事業の開始年月日	平成27年10月1日
		指定年月日	平成27年10月1日
法人名	株式会社学研ココファン		
事業所名	ココファンフォーム湘南の杜		
所在地	( 253-0004 ) 神奈川県茅ヶ崎市甘沼272		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名 ユニット数 2 ユニット
自己評価作成日	令和4年1月20日	評価結果 市町村受理日	令和4年4月15日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

引き続き新型コロナウイルス感染防止に明け暮れた2021年でしたが、湘南の杜では入居者様、スタッフとも感染することはなかったです。運営推進会議も書面にて配布させていただき、いただいたご意見は労をねぎらうものばかりで、地域の皆様のあたたかなお気持ちに感謝するばかりでした。2回のコロナワクチン予防接種もスムーズに終わることができ、特に副反応もなく、2022年2月には3回目の接種を予定しております。2021年11月からは、制限付きではありますが面会ができるようになり、ご家族等と会う機会が増え、少しずつ入居者様のストレスが軽減できています。1階2階合同の月に1度の体操イベント「タオルストレッチ」も再開でき、普段はあまり体操しない入居者様も積極的に参加して身体を動かしている姿に驚き、改めて外部の方の刺激の大切さを実感いたしました。新型コロナウイルスの感染が終息しましたら、以前のようにボランティアの方々をお招きして、またご家族が気軽に立ち寄れるような、にぎやかな日々の暮らしを取り戻していきたいと願っております。

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和4年2月22日	評価機関 評価決定日	令和4年4月10日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所はJR「茅ヶ崎」駅北口よりバスで約9分「八幡神社」バス停下車徒歩2分の県道に面した、鉄筋コンクリート造り3階建ての西洋風の建物です。1・2階がグループホーム、3階がデイサービスとなっています。近くには神社や公園、また丘の上には名門ゴルフ場があり緑豊かな環境です。

<優れている点>

法人の理念「すべての人が心ゆたかに生きることを願い、今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します」を礎に、その人らしい生活が送れるように日々の支援に当たっています。コロナ禍により、地域行事の中止や交流の自粛が続く中、万全な感染予防対策を施し、散歩や買物などの外出をしたり、事業所内で行う手芸などの趣味の手伝いや、限られた範囲でのボランティアの来訪など、利用者の不安な気持ちに寄り添いながら共に生活をしています。また、ケアに当たっては、毎月、チェックシートを全職員に配り、自己及び他者のチェックを合わせて行い、日常的に尊厳やプライバシー確保の意識付けを行っています。

<工夫点>

運営推進会議の議事録を送付時に返信用の封筒を同封し、メンバーの意見を集め事業の運営に活かしています。食事中は、誤嚥を防ぐ為にテレビを消して音楽を流しています。また食堂の座席は、生活動線を考慮し、車いす利用者は入り口付近に、自立者は奥に配置しています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ココファンフォーム湘南の杜
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日の申し送り時に理念の唱和行い、共有をし、実践に繋がれるように努めています。	「すべての人が心ゆたかに生きることを願い、今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します」との企業理念を礎に、その人らしい生活が送れるよう、日々の支援に当たっています。朝礼時の唱和と、事務所やキッチンに掲示を行い周知を図っています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルス感染防止の為、ボランティアや地域の方々との交流は持てませんでした。11月下旬より、体操の講師を招いて月1回のタオルストレッチを再開できました。	自治会に加入しています。コロナ禍により以前のように、神社の祭りや正月のイベントなどの交流は出来ませんが、散歩の時などに地域住民と直接挨拶を交わし、関係が途切れないよう努めています。なお、ホームページでの情報発信は引き続き行っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	新型コロナウイルス感染防止の為、ボランティアや地域の方々との交流は持てませんでした。近隣への散歩を入居者様とスタッフでマンツーマンで実施するなかで、挨拶を交わしたり季節の移り変わりに感嘆したりする姿を見ていただいています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	推進会議実施時に頂いたアドバイスやご意見等を参考に改善、サービス向上に努めています。	茅ヶ崎市の高齢福祉課や地域包括支援センター職員・自治会長・民生委員・家族などが参加し2ヶ月に1度開催していましたが、コロナ禍の今は活動報告など書面での対応となっています。なお議事録の送付時に、返信用封筒を同封し意見を集め、事業所の運営に活かしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の書面を通し、事業所の実情やケアサービスの取り組み等を連絡、報告などしております。	コロナ禍により行政とは、郵送や電話、事故報告の際のWebでのやり取りが中心ですが、良好な関係が維持できるよう心掛けています。なお新型コロナウイルスについての研修会など集団指導講習会には必ず参加しています。また介護相談員を積極的に受け入れ、市とのパイプ役も担っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関しては職員への周知を徹底するため委員会を毎月開催し、また定期的に学習の場を設けています。	「身体拘束ゼロの手引」を基に定期的な研修の場を設けています。「身体拘束廃止委員会」を毎月開催し周知徹底を図っています。また、自己チェックシートを職員に毎月配布しています。家族へは契約時に緊急止むを得ない場合を除き、身体拘束は行わない旨の説明をし理解を得ています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待の芽チェックシートを定期的に配布し、裏面には気付いたことを具体的に記入してもらい、全体で情報の共有と改善に努めています。また定期的に研修を実施しています。	「高齢者虐待防止マニュアル」を整備しています。「虐待防止委員会」及び定期研修は身体拘束と同時に開催しています。また職員は、自己チェックシートの裏面に他者チェックで気付いたことを記し、自他のチェックを合わせて委員会で振り返りを行っています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度利用の入居者様が2名いるので、ミーティングのケアカンファレンスの中で学ぶ機会を作り共有しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所、契約時に重要事項説明、また入所後の不安点などを聞き取り説明、同意を得ています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	新型コロナウイルス感染防止の為、ご家族との交流は持てませんでした。電話連絡を頻繁にとり、11月下旬からは面会時に担当者会議を開いているので、運営についてもご意見をいただく機会を設けています。	法人より毎年、家族へアンケートを実施しています。面会制限のある中、電話で常日頃から連絡を取り合い意見を聞いています。高齢者は布マスクを意外に好むとの家族からの情報を基に、職員に支給された未使用の布マスクをしている利用者もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のミーティング時に機会を設けています。また日常業務の中で感じたことを意見交換できるようにしています。	各フロアから出た意見や提案は、管理者がまとめて法人へ報告しています。ミーティングで話し合ったことは、書面で一人ひとりに配付し情報の共有を図っています。連絡ノートは全体の連絡事項として、出勤時に読めるように更衣室に置くなど工夫しています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	会社での賃金査定にあわせて個々のスキル、経験などを考慮しています。各自が向上心を持って就業できるように資格取得に向けた声掛けをしたり、研修への参加を促したりして、スキルアップに努めています。	就業規則は常に事務所にあります。健康診断は全員を対象に年1回、夜勤者は更に1回の簡易検診を実施しています。職員の努力や勤務状況は、定期面談や日頃のコミュニケーションを通じて把握しています。賃金アップは常に上申しモラルの向上に繋げています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設内での勉強会の実施と、ZOOM研修に参加をしています。学んだことは全体ミーティングで報告し周知しています。	職員の個々の能力を最大限に引き出すため、出来るだけ得意とするものを担当にし、モチベーションのアップを図っています。年間計画に沿った研修の他、新入職員はOJTにより早期戦力化を図っています。研修で学んだことは書面報告などで周知しています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	新型コロナウイルス感染防止の為、交流は持てませんでした。11月からブロック会議に参加できるようになり、他施設の見学し職員全体に情報共有しています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	十分に時間をかけてご本人様がより過しやすいように環境を整備し、安心してお過ごしいただけるように信頼関係の構築に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	アセスメント時などご家族様、利用者様のおかれている状況を聞き取り、施設にて対応可能なご要望には対応できるように心がけ、関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	アセスメント時などに、ご家族様、利用者様のおかれている状況を聞き取り、最も必要としている対応に重点を置くように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	高齢者が持つ知識(ことわざ等)や懐かしい歌を教えていただくなど、職員も利用者様から学ぶ機会を持ち、また利用者様同士が気持ちよく暮らせるような良い関係づくりに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	様々な状況の家族関係にある入居者様とご家族の仲介も兼ねながら、お話を伺い、絆を大切にしながら良好な関係を築いていただけるように支援しています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	新型コロナウイルス感染防止の為、交流は持てませんでしたが、11月下旬より面会を再開し、外出もできるようになり、馴染みの人や場との関係を復活することができるようになりました。	利用者の人間関係や日頃の習慣、馴染みの場所などは入居前の自宅訪問や契約時の面談で把握しています。コロナ禍により、馴染みの支援は厳しい状況ですが、趣味の手芸の手伝いや、限られた範囲でのボランティアの来訪など利用者の意向に添うよう努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日常生活の家事手伝いやレクリエーションを通して利用者様同士が関わり合いを持ち、関係づくりができるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	新型コロナウイルス感染防止の為、交流は持てませんでした。お電話でお話をさせていただきました。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の利用者様の希望などを把握し、ご本人の立場になって検討するように努めています。	ケアプラン作成時に利用者の話を傾聴する機会を設け把握に努めています。意思表示の困難な利用者には、日々のケアの中で話しかけたことへの反応などから汲み取っています。把握した内容を、朝礼時に確認し、モニタリング実施表や介護日誌を活用し共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントからの情報だけでなく、リビングや入浴時などの会話の中から得られることを、ミーティングやケアカンファレンスで共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	全員が把握できるようにミーティング時等に情報の共有に努めています。また居室担当者が毎月ご家族様に手紙を書くことで現状をお知らせしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	計画作成担当者を中心に毎月ミーティングまでに意見を集約し、計画作成に役立てています。	ケアプラン作成担当者は、モニタリングをして本人の意向を聞き、医療との連携を交えてアセスメントをしています。職員とのカンファレンス後、暫定のケアプランを作成します。その後、家族の意向を確認する為に担当者会議を行い、家族の同意を得て作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録によって情報を共有し、実践や介護計画に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	日々、変化してゆくニーズにも柔軟な対応を心がけています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣の神社への外出機会を設け、祭りや正月の雰囲気を感じて楽しみを持ち、外出できない方々へも伝えて、地域での暮らしを感じていただいています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	基本的には月2回の訪問医診察を行なっています。個々の外部への診療に関しては適切に受診できるように支援しています。	医療連携体制加算の事業所で、医療の支援体制が整っています。月2回、内科のかかりつけ医が往診に来ています。歯科医は、月4回往診に来ています。皮膚科などの他科への受診については、家族が対応していますが、適切に受診できるように支援しています。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師と連携、状態報告などを密に行い対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は面会ができず電話にて情報共有させていただきました。退院時には訪問医への情報提供をしていただき状態の把握と回復への支援が適切にできるように対応しています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期などの事例に関しては、ご家族様の要望も汲み取り、訪問医と相談して対応しています。	管理者は、入居時に家族に「重度化した場合における対応にかかる指針」を説明しています。マニュアルの「看取りガイドライン」を整備しています。昨年10月に法人によるの学研eラーニングで各自で職員研修を行い、18名が参加し、レポート提出をし理解を深めています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員個々で意識や対応に差があるので、必ず訪問医と連携して対応するように努めています。また服薬一覧表を作り、利用者様の現在の服薬状況を職員が把握して急変時に対応できるようにしています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練は年に2回行なっていますが、今後は地域の消防団などのご協力を得られるように取り組んでいきます。	2021年7月13日に昼間の火災を想定した総合訓練を同一施設内のデイサービスと合同で行っています。防災会社職員1名が参加し、1階から3階の通報訓練、避難誘導訓練、消火訓練を行っています。備蓄品は、非常食120食分などがあります。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	丁寧な言葉かけや失礼のないようなお声かけをするように、毎月自身の評価と他者の評価を行って接遇向上に努めています。	「個人情報保護マニュアル」を整備しています。職員は、利用者に対して丁寧な言葉掛けなどの「自己評価チェックシート」を毎月行い確認しています。丁寧な言葉遣いでコミュニケーションをとりながら、その人の気持ちに寄り添い、自立支援に努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	言葉が出にくくなったり、言葉の理解が難しくなった方にもジェスチャーやアイコンタクトを使って働きかけています。相手のサインを見逃さない様にスキルアップに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日々のひとり一人のペースをできるだけ大切に支援するように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみを整えられない方には、職員の介助で失礼のないようにお手伝いさせていただきます。理美容師に毎月きてもらい、カットをしています。ご希望の方にはヘアカラーもしています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	テーブル拭きなどの準備、食器やお盆拭きなどの片づけなどできる方にはお手伝いをお願いしています。	カロリー、タンパク質、脂質、炭水化物、塩分が表示された1日3食分の冷凍食品を外注しています。利用者の咀嚼力から食事の形態を刻み食、ミキサー食、おかゆなど個々の状態に合わせて提供しています。誤嚥を防ぐ為に食事中はテレビを消して音楽を流しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分量の1日のトータルをはかり食事量も含めて支援しています。食事量が少ない方には医師と相談し、高カロリー飲料等を利用したり、ご家族と協力し嗜好品で栄養をとっていただいています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアの実施と週一回の訪問歯科受診(個別契約)を行なっています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の残存機能に応じた対応を実施しています。また個々の排泄パターンを理解し、定時での誘導を無理強いせず、拒絶がある場合は機会を改めるなどして配慮しています。	トイレは各階3ヶ所完備しています。ケース記録、健康管理表、介護日誌で利用者各自の排泄パターンを把握し、利用者それぞれにあった時間でのトイレ誘導を心掛けています。トイレでの排尿排便があった時には一緒に喜んで自立意識を高めるように支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の有無、個々に応じた対応をしています。また言葉でうまく伝えられない利用者の排便の訴えを、しぐさや表情等で感じ取り、声かけしていくように努めて便秘の予防に努めています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴は週2回をめやすとし1週間のスケジュールを覚えていただけるようにある程度曜日を決めて入浴していただいています。それぞれの希望やタイミングも考慮しつつ特に便失禁後は衛生面と感染予防のため入浴していただくように努めています。	週2回を目安として利用者に入浴日を覚えてもらうように、同じ曜日に同じ利用者が入浴できるよう工夫しています。車いす利用の自立した入浴が困難な利用者には浴槽に浸かれるように二人介助で対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	お昼寝・夜間とも状況に応じて安眠できるように努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医師・看護師・薬剤師と連携し服薬、管理に努めています。また介護スタッフが把握しやすいように、毎月2回の医師の受診後は服薬一覧表を更新し、追加変更や中止については申し送りを徹底し、症状の変化に注意するよう努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お手伝いが好きな方には洗濯物やキッチンで、テレビ好きな方にはテレビの前で、植木好きな方には水やりで、カラオケ好きな方にはレクや夜の時間で、それぞれの利用者様が張り合いや楽しみを感じ気分転換できるように努めています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	新型コロナウイルス感染防止の為、外出の機会は持てませんでしたが、近隣への散歩はマンツーマンで実施しています。11月下旬からは密を避けたご家族との外出もできるようになりました。	散歩や買い物などの外出支援をしています。1対1で散歩に出かけています。おやつなどの買い物へ近隣のコンビニエンスストアまでの30分ほどを職員と一緒にしています。車いす利用の利用者も階段のない場所を選び外出しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理に関しては法人内での事情もありトラブル防止の為、施設で管理しており、利用者様の個人での所持はしない様にご家族様にもご説明、理解を得ています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望がある利用者様に対してはご家族に確認をとり対応しています。またご家族から直接話したいと電話があったり、郵送で届いたお手紙やプレゼントにお礼状を書いたりする場合は、できるだけご本人が対応できるように努めています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	衛生管理も含め居心地のよい空間づくりに努めています。四季を感じられるように利用者様と一緒に壁飾りやリビングの飾りを作成したり、レクでの習字や塗り絵等作品を掲示したり、行事の写真を掲示したりして、日々の生活を思い起こし充実感を感じられるように努めています。	衛生管理について、掃除は日勤者と夜勤者で分担して行っています。利用者も一緒に廊下の掃除機掛けや玄関の拭き掃除、植木の水やりなどを行っています。生活動線にも配慮し、車いす利用者は入り口付近の座席とし、自立の人は奥の席にするなど配席にも工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングは食事の席が決まっていますが、食事以外の時間帯は自由に移動したり、集まったりしてお過ごしいただいています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族様のご要望も聞きながら安全に留意し個々に合わせた居室環境となっています。	エアコン、ベッド、引き戸のタンスを設置しています。居室内には利用者家族の写真、ハンガーラック、仏壇、趣味の道具などを持ち込んでいます。転倒などを防ぐために、つまづくような物を置かず、転んで頭をぶつけない様に家具の角を保護材で覆っています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレの表示を文字だけでなく絵にしたり、食事テーブルと椅子には記名シールを貼り、衣類には名前を明記し、タンスの引き出しには仕分けシールを貼ったりして、できるだけわかりやすく自立した生活が送れるように支援しています。		

事業所名	ココファンフォーム湘南の杜
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日の申し送り時に理念の唱和を行い、共有をし、実践に繋がられるように努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルス感染防止の為、ボランティアや地域の方々との交流は持てませんでした。11月下旬より、体操の講師を招いて月1回のタオルストレッチを再開できました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	新型コロナウイルス感染防止の為、ボランティアや地域の方々との交流は持てませんでした。近隣への散歩を入居者とスタッフでマンツーマンで実施するなかで、挨拶を交わしたり季節の移り変わりに感嘆したりする姿を見ていただいています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	推進会議実施時に頂いたアドバイスやご意見等を参考に改善、サービス向上に努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の書面を通し、事業所の実情やケアサービスの取組み等を連絡、報告などしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関しては職員への周知を徹底するため委員会を毎月開催し、また定期的に学習の場を設けています。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待の芽チェックシートを定期的に配布し、裏面には気付いたことを具体的に記入してもらい、全体で情報の共有と改善に努めています。また定期的に研修を実施しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度利用の入居者様が2名いるので、ミーティングのケアカンファレンスの中で学ぶ機会を作り共有しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所、契約時に重要事項説明、また入所後の不安点などを聞き取り説明、同意を得ています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	新型コロナウイルス感染防止の為、ご家族との交流は持てませんでした。電話連絡を頻繁にとり、11月下旬からは面会時に担当者会議を開いているので、運営についてもご意見をいただく機会を設けています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のミーティング時に機会を設けています。また日常業務の中で感じたことを意見交換できるようにしています。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	会社での賃金査定にあわせて個々のスキル、経験などを考慮しています。各自が向上心を持って就業できるように資格取得に向けた声掛けをしたり、研修への参加を促したりして、スキルアップに努めています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設内での勉強会の実施と、ZOOM研修に参加をしています。学んだことは全体ミーティングで報告し周知しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	新型コロナウイルス感染防止の為、交流は持てませんでした。11月からブロック会議に参加できるようになり、他施設の見学し職員全体に情報共有しています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	十分に時間をかけてご本人様がより過しやすいように環境を整備し、安心してお過ごしいただけるように信頼関係の構築に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	アセスメント時などご家族様、利用者様のおかれている状況を聞き取り、施設にて対応可能なご要望には対応できるように心がけ、関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	アセスメント時などに、ご家族様、利用者様のおかれている状況を聞き取り、最も必要としている対応に重点を置くように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	高齢者が持つ知識(ことわざ等)や懐かしい歌を教えていただくなど、職員も利用者様から学ぶ機会を持ち、また利用者様同士が気持ちよく暮らせるような良い関係づくりに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	様々な状況の家族関係にある入居者様とご家族の仲介も兼ねながら、お話を伺い、絆を大切にしながら良好な関係を築いていただけるように支援しています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	新型コロナウイルス感染防止の為、交流は持てませんでした。11月下旬より面会を再開し、外出もできるようになり、馴染みの人や場との関係を復活することができるようになりました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日常生活の家事手伝いやレクリエーションを通して利用者様同士が関わり合いを持ち、関係づくりができるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	新型コロナウイルス感染防止の為、交流は持てませんでした。お電話でお話をさせていただきました。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の利用者様の希望などを把握し、ご本人の立場になって検討するように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントからの情報だけでなく、リビングや入浴時などの会話の中から得られることを、ミーティングやケアカンファレンスで共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	全員が把握できるようにミーティング時等に情報の共有に努めています。また居室担当者が毎月ご家族様に手紙を書くことで現状をお知らせしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	計画作成担当者を中心に毎月ミーティングまでに意見を集約し、計画作成に役立てています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録によって情報を共有し、実践や介護計画に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	日々、変化してゆくニーズにも柔軟な対応を心がけています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣の神社への外出機会を設け、祭りや正月の雰囲気を感じて楽しみを持ち、外出できない方々へも伝えて、地域での暮らしを感じていただいています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	基本的には月2回の訪問医診察を行なっています。個々の外部への診療に関しては適切に受診できるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師と連携、状態報告などを密に行い対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は面会ができず電話にて情報共有させていただきました。退院時には訪問医への情報提供をしていただき状態の把握と回復への支援が適切にできるように対応しています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期などの事例に関しては、ご家族様の要望も汲み取り、訪問医と相談して対応しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員個々で意識や対応に差があるので、必ず訪問医と連携して対応するように努めています。また服薬一覧表を作り、利用者様の現在の服薬状況を職員が把握して急変時に対応できるようにしています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練は年に2回行なっていますが、今後は地域の消防団などのご協力を得られるように取り組んでいきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	丁寧な言葉かけや失礼のないようなお声かけをするように、毎月自身の評価と他者の評価を行って接遇向上に努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	言葉が出にくくなったり、言葉の理解が難しくなった方にもジェスチャーやアイコンタクトを使って働きかけています。相手のサインを見逃さない様にスキルアップに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日々のひとり一人のペースをできるだけ大切に支援するように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみを整えられない方には、職員の介助で失礼のないようにお手伝いさせていただいています。理美容師に毎月きてもらい、カットをしています。ご希望の方にはヘアカラーもしています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	テーブル拭きなどの準備、食器やお盆拭きなどの片づけなどできる方にはお手伝いをお願いしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分量の1日のトータルをはかり食事量も含めて支援しています。食事量が少ない方には医師と相談し、高カロリー飲料等を利用したり、ご家族と協力し嗜好品で栄養をとっていただいています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアの実施と週一回の訪問歯科受診(個別契約)を行なっています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の残存機能に応じた対応を実施しています。また個々の排泄パターンを理解し、定時での誘導を無理強いせず、拒絶がある場合は機会を改めるなどして配慮しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の有無、個々に応じた対応をしています。また言葉でうまく伝えられない利用者の排便の訴えを、しぐさや表情等で感じ取り、声かけしていくように努めて便秘の予防に努めています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴は週2回をめやすとし1週間のスケジュールを覚えていただけるようにある程度曜日を決めて入浴していただいています。それぞれの希望やタイミングも考慮しつつ特に便失禁後は衛生面と感染予防のため入浴していただくように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	お昼寝・夜間とも状況に応じて安眠できるように努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医師・看護師・薬剤師と連携し服薬、管理に努めています。また介護スタッフが把握しやすいように、毎月2回の医師の受診後は服薬一覧表を更新し、追加変更や中止については申し送りを徹底し、症状の変化に注意するよう努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お手伝いが好きな方には洗濯物やキッチンで、テレビ好きな方にはテレビの前で、植木好きな方には水やりで、カラオケ好きな方にはレクや夜の時間で、それぞれの利用者様が張り合いや楽しみを感じ気分転換できるように努めています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	新型コロナウイルス感染防止の為、外出の機会は持てませんでした。近隣の散歩はマンツーマンで実施しています。11月下旬からは密を避けたご家族との外出もできるようになりました。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理に関しては法人内での事情もありトラブル防止の為、施設で管理しており、利用者様の個人での所持はしない様にご家族様にもご説明、理解を得ています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望がある利用者様に対してはご家族に確認をとり対応しています。またご家族から直接話したいと電話があったり、郵送で届いたお手紙やプレゼントにお礼状を書いたりする場合は、できるだけご本人が対応できるように努めています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	衛生管理も含め居心地のよい空間づくりに努めています。四季を感じられるように利用者様と一緒に壁飾りやリビングの飾りを作成したり、レクでの習字や塗り絵等作品を掲示したり、行事の写真を掲示したりして、日々の生活を思い起こし充実感を感じられるように努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングは食事の席が決まっていますが、食事以外の時間帯は自由に移動したり、集まったりしてお過ごしいただいています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族様のご要望も聞きながら安全に留意し個々に合わせた居室環境となっています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレの表示を文字だけでなく絵にしたり、食事テーブルと椅子には記名シールを貼り、衣類には名前を明記し、タンスの引き出しには仕分けシールを貼ったりして、できるだけわかりやすく自立した生活が送れるように支援しています。		

2021年度

## 目標達成計画

事業所名 ココファンホーム湘南の杜

作成日： 2022 年 4 月 14 日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	2021年度は地域とのつながりが持てず、新型コロナウイルス感染防止に努めてきましたが、1月末に陽性者が出てクラスター状態となりました。運営推進会議、外部評価もままならず、地域の方々とは書面を通じての交流のみとなりました。	2022年度は運営推進会議を事業所で開催し、地域の皆様、ご家族様との意見交換や交流の場を持てるように努めます。	事業所にお集まりいただく際には、体調確認と手指の消毒・検温・手洗い・マスク着用とソーシャルディスタンスを確保する。 事前に書面を配布し、飲食の提供は控え、開催時間を短時間とする。	12ヶ月
2	20	御家族だけでなく、馴染みの人や場との関係を継続できる機会が限られてしまいました。	御家族との面会だけでなく、ご親戚や馴染みの人々、馴染みの場所への外出ができるように支援していきます。	複数の御家族が重ならないように面会は予約制とし、三密を回避できるご自宅などへは外出の機会を作り気分転換をしていただく。	12ヶ月
3	33	新型コロナウイルス感染と感染防止の取り組みの結果、入居者様のADLの低下が顕著となってしまいました。	ADLの低下を少しでも回避できるように様々な取り組みを企画していく。 早い段階から、重度化した場合や終末期のあり方について、医師と話し合う機会を設け、ご家族に将来に向けた方向性を検討していただく。	現状できる事を継続し、ADLの向上につなげていく。 医師による聞き取りの日程調整をし、担当者会議を開き、現段階の状況と今後の見通しをお伝えする。	12ヶ月
4	52	感染防止の為に安全な共用空間を余儀なくされ、共に暮らす人とのコミュニケーションが取りづらくなってしまいました。	ソーシャルディスタンスを取りながらコミュニケーションが取れる機会を作っていく。	外気浴の機会を作り、玄関でのレクリエーション時に会話を持つようにする。 換気をしながら室内でのレクリエーション時に会話を持てるような機会を作る。	12か月
5	13	コロナ禍での人員不足による就業で、職員を育てる取り組みができませんでした。	人員を増やす事により、スタッフの負担軽減を図り、ケアの品質向上のため、研修の機会を設けていく。	年間計画の研修だけでなく、日々のケアカンファレンスで疑問を持ったことなど積極的に研修の場を作っていく。	12ヶ月